

1. 主題名 友情を深める 【B 友情, 信頼】
2. 教材名 「心のレシーブ」(出典:東京書籍「新訂 新しい道徳 5」)
3. 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

本題材は、新学習指導要領第5学年及び第6学年の内容「B 主として人との関わりに関すること」の「友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。」に基づいたものである。この項目内容は、中学校では、「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。」に発展していく。

第5学年の発達段階においては、これまで以上に友達を意識し、集団を作り仲のよい友達との信頼関係を深めていこうとする。友達関係が学校生活に影響を与えることもある。

そこで友達と協力することが大切であるという認識は誰にでもあると考えるため、よりよい友達関係を築いていくには友達の長所を見つけ、頑張る姿を尊敬する気持ちを持ち、互いを認め合って理解しようとすることが重要であると気付かせるようにしたい。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、友達と協力して活動できる児童が男女とも多い。委員会活動では6年生との交流を楽しみながら、自分の仕事に責任を持って取り組んでいる。

児童にとって友達と協力することが大切であることは分かっている。それを実感できるきっかけになったのは、校外学習で乗るバスの席決めを何の方法で決めるのか話し合いをしたときである。「くじ引き」と「自分たちで決める」のどちらか選ぶためお互いが納得できる理由を述べたり、相手の意見に共感できたら「それいいね」と素直に認めたりしていた。クラス全体が嫌な気持ちにならずにバスの席を決めることを目的に全員が真剣に話し合っていた。しかし、自分と異なる意見の人や自分の考えが定まらず意見に矛盾が生じている児童に対して、強い口調で意見を求める場合があった。その反面、自分の考えを全く話さない児童もいる。

そこで本時では、チームで一つの目的を達成するにはどのようなことが大切になってくるのか深く考えさせたい。

(3) 教材について

本教材は、ソフトバレーボールが得意な陽子が同じチームの男子にやる気がないと不満を持っていた。しかし、運動の苦手な良夫が練習試合で非常に頑張っていたことから、地道に練習を重ねていたことを知る。陽子は、今まで決めつけた見方をしていたことに気が付き、男子のことを分かろうとしなかった自分に反省した。大会に向けてチームの心が一つになるという話である。

ウィンタースクールが近い上に体育ではバスケットボールが始まり、グループで活動することが増えているため、男女の気持ちを押さえながらメンバー全員が同じ思いで活動する方法を考えていきたい。

4. 指導の工夫

メンバー全員が同じ思いで活動するために、導入ではチーム活動の経験の有無を問い、経験からチーム活動をうまくできるのは非常に難しいことを思い出させる。チーム活動の際に、児童が心掛けていること・うまくいかないときに起きることを挙げてもらい、本時の学習意欲を高める。基本発問を通して登場人物の気持ちを確認するとともに、異なる意見の中にも共通する目的があることも押さえておく。そして中心発問では心情の変化を取りあげ、チームが一つになるにはメンバーの頑張りを認めることが重要だと気付かせ、今後の学校生活に生かし相手に寄り添った考え方を伝えたい。グループで意見交換を行う時間を設け、自分とは異なる意見を受け入れて考えを深める。展開の後半で学習内容を実生活と結びつけるために今までの経験を聞く。自分の経験を話しながら、今までの自分の行動や言動を振り返って、これからはチームのためにどのようなことができるのか考えるきっかけにしてほしい。

5. 本時の活動

(1)ねらい

友達と互いに信頼し合い、一人一人のよさを認め合いながら人間関係を築いていこうとする心情を養う。

(2)展開

	学習活動(○主な発問・予想される反応)	□指導上の留意点 ☆評価の観点
導入 10分	1. チーム活動の経験を話し合う 2. 本時の学習問題を知る。 チームで目的を達成するために大切なことは何か考えよう。	<input type="checkbox"/> 指導上の留意点 ☆評価の観点 <input type="checkbox"/> 児童自身の実体験を取り入れてチーム活動の大変さをイメージさせる。
展開 25分	3. 教材「心のレシーブ」の範読を聞き、話し合う。 ① (p104, 16行目まで聞く。) ○このチームは勝てそうですか。 ・勝てない ・メンバーが仲悪い ・雰囲気悪い ・喧嘩起きそう ② (p105, 1行目～p106, 9行目まで聞く。) ○チームのみんなはどのようなことを思っているでしょう。 女子 ・勝ちたい ・本気で練習してほしい ・なんでやる気ないの ・頑張っているのは分かるけど 男子 ・信用されていない ・ソフトバレーボール苦手だな ・頑張っているのを分かってほしい ・自分のせいで負けたらどうしよう	<input type="checkbox"/> 教材を全文読むのではなく、場面ごとに区切って登場人物の気持ちを考えるようにする。 <input type="checkbox"/> この時点でのチームの雰囲気を確認して、状況把握をしておく。 <input type="checkbox"/> 「勝ちたい」という気持ちについてきてくれない男子にいら立つ陽子の気持ちや、女子に見下されている直希の嫌な気持ち、自分が足を引っ張っていることに申し訳ない気持ちに共感させ、チーム内で様々な考えを持っていることを明らかにする。 <input type="checkbox"/> 男女ともに「頑張りたい」という共通の思いを持っていることを明らかにする。

	<p>③ (p106, 10行目～最後まで聞く。)</p> <p>◎陽子は練習試合で、どのようなことに気が付いたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良夫が真剣 ・良夫と直希が放課後練習している ・みんながんばっていたのだな ・男子二人がやる気がないと決めつけてしまったな <p>○チームが一つの目的に向かって頑張るには、どうしたらよいだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しく声をかける ・お互い褒める ・悪いと思ったら謝る ・お互いを認め合う ・チームを思いやる ・絆を深める 	<p>□陽子の気持ちの変化に気付かせる。</p> <p>□グループで意見交換して異なる意見も受け入れる機会を作る。</p> <p>☆友達と互いに信頼し合い、よさを認め合いながら友情を深めていくことについて自分なりに考えているか。[価値理解]</p>
<p>結 末 10 分</p>	<p>4. 本時の振り返りを書く。</p> <p>5. 振り返りを発表する</p>	<p>☆学習内容から実生活で活かせることを考え出すことができているのか。</p>

(3)板書計画

(4)評価

○児童の視点

・友達と互いに信頼し合い、一人一人のよさを認め合いながら人間関係を築いていこうとしているか。

○授業者の視点

・発問構成はねらいに迫る上で適切であったか。